

予算決算委員会総務文教分科会会議記録
(補正予算審査)

1. 日 時	令和5年3月3日(金) 9時30分開議 令和5年3月3日(金) 16時45分散会
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	向井千尋座長、原田豊彦副座長、齋藤泰博委員、足立義則委員、安井博幸委員、隅田雅春委員、小島政行議長
4. 欠席議員	なし
5. 会議に付した事件	議案第20号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算(第16号)
6. 議事の経過	<p>向井座長 開議宣告</p> <p>■議会事務局 日程第1 議案第20号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算(第16号)</p> <p>【主な説明】 補正予算書に基づき説明)</p> <p>【主な質疑】 安井委員 議員報酬の減額及び議員期末手当の減額ですが、日割り計算だったと思うのですが、どういう計算でこの数字が出てきたのか説明をお願いします。</p> <p>議会事務局 内訳ですが、園田副議長が副議長になられたことで8万6935円の増額、河南議員御逝去によりまして70万円の減額、大上議員が辞職されましたことによりまして94万3871円の減額、当初予算で、2月の新人議員の予算を3名分で組んでおりましたが、今回5名の方が入られていますので、その差額分として新人議員さん1名分で、お1人当たり23万7500円の減額が3名です。</p> <p>河南議員と大上議員については、予算を全額落として新人議員2名を全額上げる形で考えております。それが46万2500円の2人分でございます。</p>

ます。今の積み上げで 134 万 4436 円の減額となります。

それと、大上議員が辞職されましたことによります所得税の関係で 6850 円の増額と、5 月に体制が変わりましたことによりましての支出増が 3705 円で今回の補正額を積算しております。

先ほどお話がございました積算に当たっては、日割りで計算をしております。

隅田委員 テレビの受信料団体割引が適用になったという説明でしたが、毎年同じような費用が出ていると私は認識していましたが、団体割引が適用される条件はどのようなものですか。

議会事務局 管財契約課に確認し、後刻報告させていただきます。
(後刻、NHK の衛生放送受信料は 2 台目から半額になる制度があり、2 台目扱いとなったための減額と説明)

安井委員 政務活動費補助金、32 万円減額になっているのですが、どういう状況なのか、説明いただけますか。

議会事務局 議員 1 人 1 年間分で 24 万円の減額、また河南議員と大上議員分として 2 万円かける 2 ヶ月分かける 2 人分として 8 万円の減額、合計 32 万円の減額としております。

安井委員 2 月に当選された新人議員の方の 3 月分は減額されていないと理解してよいのですか。

議会事務局 2 月に当選された議員の 3 月分の政務活動費は確保しております。

■企画総務部

日程第 1 議案第 20 号 令和 4 年度丹波篠山市一般会計補正予算 (第 16 号)

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

隅田委員	休職者が6名と聞きましたが、どういう理由による休職なのか、説明 お願いしたいと思います。
企画総務部	休職者6名の状況につきましては、3人が身体面での疾患での休職、 もう3人はメンタル面での不調を来しておりまして、休職をしていると いう状況です。
小島議長	職員の健診率は何%ぐらいですか。
企画総務部	申し訳ありません。確認して報告させていただきます。 (後刻、健診率96%と報告)
小島議長	検診率はぜひ上げていただきたいと思います。また身近に心のケア の対応ができる専門家等について、どのような対応をされているのかお 聞きします。
企画総務部	本市診療所の松村医師に産業医になっていただきまして、現在メンタ ル面で不調を来している職員の相談等にのっていただいております。ま た必要に応じて医療機関等を紹介していただいている状況です。
安井委員	早期退職の件ですが、早期退職されるにあたりどのような理由で早期 退職されているのかということと早期退職された場合どのように補っ ているのかを教えてください。
企画総務部	早期退職をされる方の理由は、様々ですが早く退職してゆっくりした いという方や新たに行政とは異なる別の分野にチャレンジをしたいと いう方もおりまして理由は様々でございます。 早期退職者による補充をどうするかということにつきましては、基本 的には、新規採用職員を補充しまして業務に支障を来さないように考え ております。
安井委員	年度末とかそういう時ではなく途中で退職された場合はどのように されているのですか。
企画総務部	本年自己都合で3名、年度途中で退職をしております。

その後の対応としましては、基本的には会計年度任用職員を配置いたしまして業務をカバーしております。

向井座長 人件費の減額のところですが、1番多い減額が、休業に関する減額で次が育児休業等になっていますが、どれぐらい休業をとられているのかという現状と育児休業の対象がどれぐらいいるのかということと減額の根拠を教えてください。

企画総務部 育児休業者の減額につきましては、新たに育児休業を取得したものであるということで当初見込んでいない部分での減額ということです。
女性職員については、ほぼ全員がこの育児休業制度を利用しています。最近でも男性職員で長期の休業ではありませんが、1週間や1か月といった短い期間で取得している職員もおります。

企画総務部 休業の減額は、もともと給料を予定していたけれども、お子さんが生まれ休業されたことで、本来の給料が減額されたということです。育児休業の取得者が増えたということになります。

隅田委員 一つは自衛隊の募集ということでデジタルサイネージを導入したということですが、自衛隊が希望していて当市で出来ていない事案があるのかどうかということともう一つは、広報の広告で19万1000円でしたか増えたということですが、これは職員が企業を訪問して広告料が増えたのか、それとも自然に増えたのか増えた理由についてお願いします。

企画総務部 自衛隊の隊員募集の件でございますが、以前からいろいろと隊員募集に関しては工夫を凝らしてほしいという依頼を常にいただいております。そこで何ができるかというところで、今回庁舎の玄関に設置しておりますデジタルサイネージの1ページを365日間、自衛隊に提供することで、広告料に要する電気代を負担していただいているということでございます。

来年度においては、県から自衛隊員募集の重点地区に選定しましたということですので普段よりは多く委託料が交付されます。

その分は強化した宣伝活動をしなれないといけないという形になっておりますので、今後例えば看板の設置、横断幕の設置等々を考えていくこととしております。約20万円から25万円ぐらいの予算を聞いておりま

すので対応をしていかないといけないと考えております。

それと広報の広告費でございますが、昨年度から取り組んでおりまして特に商工会の皆様方に御協力をいただいております。

商工会事務局に出向きまして、商工会の会員様に周知をされる必要がありましたらご利用くださいという働きかけをしたところ非常に反応がありまして、会員の皆様方や市内の事業者の皆様方からお声がかかっているというのが現状です。

企画総務部 広告の件ですが、これまで広告に応募していただいていた企業については、営業活動をしておりまして次年度もよろしく願いますということで訪問をさせていただいております。

あわせて広報の取材において、事業者と出会うことがありますのでそのときにもお願いをしております。

安井委員 21 ページの文書広報費ですが、説明ではページ数が減ったから、64 万ほど減額になったということでしたが、広報と一緒に毎月いろいろなチラシが各家庭には送られてきます。

自治会長はそれを全部セットしたりする手間があるので、広報に取り入れて対応された方が、自治会長が配布する手間は省けると思うので、チラシなどをできるだけ広報に取り込むようなことを考えたらどうかと思うのですがどうですか。

企画総務部 広報と一緒に配布物もたくさんあるわけですが、広報係でも、担当課から配布物を配るという相談があった場合は、広報への挟み込みを進めるようにはしております。

自治会からは配布物が多いというお声は聞いておりますので、できるだけ広報に一元化できるように進めていきたいと考えております。

安井委員 できるだけ広報の方で一元化するように進めていただければと思います。もう 1 点丹波篠山市の広報は最初の 1 ページだけが横書きでほかは全部縦書きです。

私は非常に見にくいというように感じていまして、いっそ全て横書きに統一したらどうかと思います。

横書きの方が、スマホとかパソコンで見るのには、対応しやすいわけですので、年度替わりを控えて広報の改革をしていただければと思いま

す。意見といたしますか提案とさせていただきたいと思います。

企画総務部 以前から安井委員からは、レイアウトに関しまして御意見をいただいております。固定概念にとらわれずに、改善に向けて取り組んでいきますので御理解をお願いいたします。

隅田委員 キャッシュレス手数料が1万9500円ですか。減額ということで利用者が少なかったというように理解すればよいのですか。

企画総務部 申しわけありません。キャッシュレスの件数等については後ほど資料としてお渡しするようにしたいと思います。

見込みにつきましては支払いが出来ないことが無いように少し多く予算を計上しております。ただ、窓口でまだ支払いができるという認識が、市民の皆様には浸透していないという部分はございますので、今後とも感染症等の心配もございますので、キャッシュレスをできるだけ使っていたいただきたいという広報に努めたいと考えております。

(後刻、市民課窓口418件、収税課窓口7件、市民衛生課窓口20件、計445件で報告済。)

安井委員 情報システムのところのパソコン機器のところ、入札で安く買えたということだと思うのですが、200万円も安くなるというのは、相当な台数だったと思うのですが、何台購入して1台幾らであったのか教えてください。

企画総務部 すみません。今ここに資料がございませんので後ほど回答させていただきたいと思います。

(後刻、当初予算額1924万7000円、落札額1692万8340円その他機器29万2000円として報告)

安井委員 それと下取りに出しているパソコンはどのようにデータ除去等をして下取りしているのか。教えていただきたいと思います。

企画総務部 廃棄するパソコンにつきましては、ハードディスクを取り外しまして専用の機械によって、電子的に破壊するというような形で処分をしております。その他いろいろな機器も含めまして、まとめて業者に見積りを

していただいて引き取っていただいています。

隅田委員 ふるさと納税について目標4億円ということで通常であれば1億5000万円ぐらいの過去の実績だったと思うのですが、今年度は2億4000万円ですか、増えてきたとは思っていますが、その辺り当初このようなことをして増やそうと思っていたけれども、こういったことで増やせなかったという理由の説明をお願いします。

企画総務部 ふるさと納税につきましては、4億円を目標として今年度取り組んでまいりました。特に取組の強化といいますか、目標としてやってきたのが、まずは返礼品の強化ということです。

返礼品事業者については、令和3年度でありましたのが58社で今年度は122社ということで増加いたしました。

返礼品数につきましても令和3年度は420点あったものが、現在は732点ということで増やしております。

また、特産品として、黒枝豆、牛肉、お米などの数量を増加して多くの寄附に対して返礼品をお返しをしていくということでまずは数量の増加をしていかなければいけないということの取組をしてきました。

あと目玉の返礼品として、まずは注目をしていただく必要があるということで、大書院での城主体験やウエディング、ぬくもりの郷の貸切りというようなインパクトのある取組をやってきたところです。

また、今まで取り組んでおりますものをさらに強化することによって、ガバメントクラウドファンディングの活用や企業版ふるさと納税の実施ということで、今まで取り組んできたものについては、さらに強化して、企業版ふるさと納税については新たな取組としてやってまいりました。広告の強化ということにも取り組んでまいりました。

納税サイトについては、4サイトから6サイトということで増やしてきました。寄附者増に向けてはここがポイントということで、増やしてきたところです。その他としてあらゆるところでのプロモーションということでの取組として、ふるさとチョイス大感謝祭が、横浜市であるのですけれども、そういうところでPRをしていけば、寄附も増えていくという情報も得た中で取り組みました。また各百貨店などのエリアを借りまして、そこでPRをしたり、あとはサービスエリア等に行きまして、特にサービスエリアは、市外の方が利用される場合が非常に多くありますので、西紀サービスエリアや宝塚北サービスエリア、淡路のオア

シスなどで取組をしてまいりました。

本年度につきましては、今までやってないことについて、新たな取組としてチャレンジしていく必要があると考えています。

それと丹波篠山市ならではの返礼品を供給量も含めて、ある程度確保できるようなものを考えています。例えば電気製品などは、他市でもありますけども、そういうものがなかなか見つけられなかったところはありませんでしたが、やはりそういう商品が何かないかというところもやはり検討しましたが、残念ながらなかなか見つからなかったこともございます。これまで取組を強化してPRも含めてやってまいりましたが、今回目標の4億円には届かなかったわけですが、何とか2億5000万円の確保ができ、約1億円弱ですけれども、増加できたことについては、一定の成果があったと考えております。

特に先ほど申し上げました、事業者数、返礼品数については、かなり増やしてきておりますので、そのことについては、来年度以降についても、そのことが土台としてつながっていくのではないかと考えております。

隅田委員

特産品のところで黒枝豆は言われたのですが、丹波篠山のお米の評価は非常に高いと聞いています。しかし、農家の方が受け取る金額は非常に低く、6000円ぐらいということです。これをふるさと納税で、例えばふるさとの恵み米を生産団体が耕作してこれを高い値段で販売して、農家の方に、少しでも多くのお金が還元できるような体制が出来ないかと思っておりますので、検討していただきたいと思っております。

それとニコパカードですが、前年比1.5倍の利用者ということで、中学生にどのようにPRされて、共感を受けたのかお聞きしたいと思っております。

企画総務部

ニコパカードの利用率につきましては、全体のことでございますので中学生に限ったことではないのですが、上限運賃制がニコパカードを使うことで提供できることが好評をいただいていると考えています。

中学生へのニコパカードの配布につきましては、モビリティマネジメントという形で乗っていただくのと配布を一緒にしようというように考えておりましたが、時期的に2月とかですと受験前ですのでコロナ感染症のことも考え、集団で集まるような取組は出来たら控えてほしいということでしたので今回については詳しい説明は出来ておりませんが、

一般の配布としてチラシをお配りしたという形で、実施をさせていただいたところです。

安井委員　　ふるさと納税の件で、藤田課長から説明いただいたのですが、企業版ふるさと納税というのに取り組まれたということでしたが、それが実績のどのぐらいの割合を占めているのか。企業版ふるさと納税に取り組まれてそれがどの程度の効果があったのかというところを説明していただけますか。

企画総務部　　企業版ふるさと納税の状況につきましては現在のところ4件で、260万円ということで納税をいただいております。

企業版ふるさと納税につきましては、以前から取り組んではおりましたが、企業へのPRというところで、補正予算で計上させていただいておりますが、110万円の委託料ということで組ませていただいております。事業者へ委託をして、各企業に企業版ふるさと納税のPRをしていただいております。

実際のところについては、4件で260万円ということですので、全体額からすると、そこまでの金額には至っていないのですが、このことについては、今後にもつながってくると思います。企業にとってもPRにもつながってくる部分かと思っております。

また、企業版ふるさと納税の歳入については、ふるさと納税とは別に歳入処理をしています。

安井委員　　全体からすると1%ぐらいということですが、将来的には伸びるかもしれないということで期待したいと思っております。

それと昨日の新聞だと思っておりますが、お城に泊まるというのがようやく、具体化したのかなと思っております。もっと早い時期に出ていけばよかったのかなというようには感じたのですが、本年度には間に合わなかったという感じで受けとめました。準備とかが大変だったとは思いますが。ただそのような宿泊について、例えば市内の施設において返礼品に例えば食事などを提供するとかいうことはもうされているのですか。

返礼品は3割という制約があると思うのですが、丹波篠山へそういったものを利用するために来ていただいたら、もう少しお金を落とさせていただけるわけですので、非常に効果的な方法だと思うのですが、その辺りの取組についてお尋ねします。

企画総務部 宿泊などはすでに返礼品の中に入れておりました、集落丸山などでは、宿自身で出しているパターンもありますし、JTBの旅行クーポンという形で何円分といった寄附をいただくことも出来ます。

また、2月8日から始まっておりますが、PP商品券という取組も始めておりました、これはPay Payというキャッシュレスの決済を導入している各店舗で、地場産品を提供しているものや丹波篠山でサービスを提供しているお店で使っていただけるものです。

丹波篠山に訪れた観光客の方がその場でふるさと納税をして、そのサービス代金の支払いに、寄附の3割を使っていただけるということです。これも観光客の取り込みやふるさと納税への取組を期待しています。

安井委員 宿泊や宿泊施設などの食事券とかいうものは、このふるさと納税全体のうちのどのぐらいの割合を占めていますか。

ふるさと納税をされた方が、そういうのをどの程度利用されているのか、そういう方々の割合を増やすことが、市の経済の活性化につながってくると思うので、現状を知りたいのと将来それに力を入れてほしいという要望です。

企画総務部 すいません。正確な割合につきましては、今手元に資料がございませんのでわかりかねますが、件数としては少ない状況です。

安井委員がおっしゃるように、多くの観光客の方が、丹波篠山市に来ていただいておりますので、そういう方々を何とか取り込んでそのことによってふるさと納税だけでなく、市全体の経済も上げていくという取組も必要ですので、今言われたような形で取り組んでいきたいと考えます。

隅田委員 新型コロナの関係もありますが、ユネスコの総会に市長は参加されていたと思うのですが、今後の方向について説明お願いしたいと思えます。

企画総務部 ユネスコ創造都市の総会につきましては、隅田議員御指摘のとおり、毎年市長が出席しておりました、このユネスコ創造都市での当市の取組をPRする機会としてとらえておりました、市長も積極的に出席をしまして、他市との交流も深めてきたところでございます。確かにここ2年

間は、総会の開催もなかった年もございました。

令和4年度については、ブラジルでのサントス市での開催はあったのですが、出席は見送っております。

令和5年度につきましては、トルコのイスタンブール市で開催の予定であり、市長としましてはできれば出席したい意向を持っております。

ただ、担当課に確認しておりますが、まだ本部のほうから、開催の案内や日程等の連絡も来ていないということですので、詳細が決まり次第、市長としては積極的に出席する方向で調整していきたいと考えております。

隅田委員 適否の審査があると思うのですが、次に丹波篠山市が審査される年は、いつですか。

企画総務部 令和5年に次のレポートを出しまして、審査があるようですのでまたそちらに向けての取組を進めていきたいと思っております。

安井委員 21ページの功労者表彰のところですが、41万円ほど減額になっていきます。見込みより表彰を受けられた方が少なかったという説明でしたが、例年の何人ぐらいが今回何人ぐらいであったのかお聞きします。

企画総務部 本年度については当初予算のときは45人で、例年40人前後の受賞者がありますので、45人で要求しております。本年度は22団体と3人で25件の表彰になったということで減額させていただいております。

安井委員 ほぼ半分ぐらいに減ってしまっていますが、どういう理由でこれ減ってしまったんですか。

企画総務部 タイミング的な問題もありまして、例えば民生委員さんであれば3年に1度で改選などがありますので、やはりばらつきがございます。

今年度は退任のタイミングが無かったということで、件数は少なくなっております。

■行政経営部

日程第1 議案第20号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第16号）

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員 8 ページですが、普通交付税が増えています。これはどういう理由で 9,200 万円ほど増えたのか。説明をお願いします。

行政経営部 普通交付税の増額につきましては、国の補正予算におきまして、11 月に閣議決定されまして、国税収入の増額がございましたので、それに伴いまして地方交付税が増額されたものでございます。この増額に伴いまして、普通交付税の基準財政需要額に、新たに臨時経済対策費という費目が創設されまして、それに伴う増額分が今回の補正予算の増額分となっております。

隅田委員 池上の県住跡地について 1,200 万円の入金はこういった内容なのか。また、残地があるのかどうか説明をお願いしたいと思います。

行政経営部 池上の県住跡地の売却ですが、これについては全体を一筆として売却しております。面積が 950 m²で、住宅地として分割することは難しいこともあるので用途を限らず売却を行いました。残地はありません。

向井座長 池上の県住跡地の土地利用については、住宅になるかまだ何も分からないということですか。

行政経営部 住宅にされるか事業用地にされるかは分かりません。

隅田委員 入湯税ですが今田薬師温泉と観音湯ではどのような比率になっていますか。説明をお願いしたいと思います。

行政経営部 今田薬師温泉が 9 で他が 1 ぐらいですので、ほぼ今田薬師温泉がメインでございます。

安井委員 同じページの環境性能割の軽自動車ですが、税金が多く入ってこないようになってしまっているわけですが、市で今軽自動車は何台ぐらいあって、税金の少ないものがどれぐらいの割合なのか具体的な数字を教えてください。

行政経営部 環境性能割という税金は軽自動車を買うときに、その取得価格が 50 万円以上のものについて課税される税で種別割とは違う税です。

いったん県が徴収して市のほうに振り込む制度になっており、令和 4 年度は 670 台の報告がございまして、令和 3 年度が 400 台ぐらいです。申告台数は増えております。

環境に優しい車両につきましては非課税または、低税率であり、環境に優しくないものは 2%の税率がかかります。見込んでいたよりも低税率の環境に優しい車両を買われる傾向が強い状況ですので、予算化していた金額よりは少なくなっているという状況です。

安井委員 今言われた傾向は今後強まっていくと、想定されていると思うのですが、670 台と言われましたが、多くの車が環境に良いものを導入されていると理解していいわけですか。

行政経営部 そのとおりでございます。メーカー側も二酸化炭素の排出を少なくしなければいけないという責務がございまして、自然にそういった傾向になるものと考えております。

■ 学校教育部

日程第 1 議案第 20 号 令和 4 年度丹波篠山市一般会計補正予算（第 16 号）

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

隅田委員 ALT 2 人の未配置の予算が計上されておりますが、これ、2 人が欠員ということで、教育において影響はあったのかということと、新型コロナも収まってきて、海外からも人が入ってくるような状況になってきていますが、令和 5 年度の ALT は予定どおり配置することができるのかどうか説明をお願いします。

学校教育部 ALT の欠員を埋めるために ALT カバーリング事業で 1 名を補充しました。8 名がそろわない中でも、ALT の授業ができるだけすべての

学級に行き渡るような形で配置等を工夫して行ってまいりました。
令和5年度につきましては8名の配置でスタートできる予定です。

向井座長 体験教育推進事業ですが、自然学校について今年は何とか無事に行われたということですが、体験的には少し縮小されたということですが、その辺りの子供たちへの影響を教えてください。

学校教育部 確かにここ3年ほど、4泊5日であった自然学校を2泊3日で実施しております。その中でできる限り現地でしか出来ないようなものをプログラムとして組むように工夫しております。
具体的には、スノーケルやカヌーやキャックなど、現地に行かないと出来ないものを、できる限り2泊3日に詰め込むというような形で実施しております。

向井座長 縮小しながらも中身を充実ということで、工夫していただいていると思うのですが、今後、その見通しとしては、元に戻していくのかそれとも充実しているので2泊3日とするのか、その辺りの教育委員会としての考え方など子供たちや保護者からの御意見などは聞いておられますか。

学校教育部 現時点ではまだ検討しているというのが正直なところであります。国の方針も日々コロナに関しては変わってきております。ただ4月から正常化していくというようなことも報道されておりますので、そういったことにも基づきながら最適な日数というものについて考えていきたいと思っております。

向井座長 ロータリークラブから寄附があつて中学校の技術の教材の話がありましたが、具体的にどこの中学校にどれぐらいどのような動きをされたのか説明をお願いします。

学校教育部 中学校の技術科でプログラミングの授業を行っております。その際には、各校で無料のプログラミングアプリを使った学習などをこれまでしてきておりましたが、それに加えてもう少し高度な、目に見えるプログラミングの授業ができるようにということで、パソコンでプログラミングしたものを、micro:bitという部品を通して車に伝えまして、プログラムのとおりに動かすことができる教材を購入させていただく

ことになっております。

個数としましては、全ての中学校で、2人に一つぐらいということで、通常の授業の中で使用いただくというように考えております。

向井座長 学校施設維持管理費のところ、多紀小学校と西紀中学校と篠山中学校の設計ということで言われましたが、もう少し詳しく説明いただけますか。

学校教育部 多紀小学校の外壁等改修工事設計業務につきましては、今後、今年度実施しました篠山中学校と同じように外壁等の大規模改修工事を想定しておりますその設計業務です。

西紀中学校の外壁等改修工事設計業務につきましても、大規模の改修工事に向けた設計業務を発注しております。

篠山中学校の大規模改修工事監理業務につきましては、現在、実施しております篠山中学校の大規模改修工事につきまして、設計コンサルタントによる専門的なサポートを受けている管理業務です。

安井委員 58ページの奨学金の貸付け事業ですが24万円ほどの減額ということは、応募者が少なかったのかその辺の状況を説明していただけますか。

学校教育部 当初予算では私学の方を7名予定しておりました。実際私学の高校に行かれています方が6名となりましたので、1名減で24万円を減額しております。

足立委員 58ページの学校の周年記念の事業の補助金ですが、このような補助金は実施されたら、実行委員会が補助金を受け取られて、周年事業をされていると思うのですが、この2校はこの補助金を使わずに実施されたというように認識しておりますが、なぜ使わなかったのか説明をお願いします。

学校教育部 2校につきまして1校は丹南中学校になります。昨年度が60周年でしたが、今年度にも何か行事を実施する可能性があるということで予算計上しておりました。結果として落語の鑑賞会を実施されましたが、PTAの会費を充て、PTA事業の一環として取り組むことで補助金は使われませんでした。

もう1件は城南小学校で150周年になりますが、航空写真を作成されました。

それほど大きなお金の動きもなく、運営協議会事業として位置づけたことで今回は補助金を活用せずに実施したことを確認しております。

足立委員 両方の給食センターに聞きたいのですが、先ほど異物混入があったということですがけれども、実際のところ職員は足りているのか足りていないのか。どのような状況ですか。

学校教育部 両センターとも現在のところ人数的には足りていると考えています。

足立委員 足りているということでしたら、今回は人的ミスだと思いますので、今後注意していただきたいと思います。

足立委員 今回賄い材料費がどちらも減額になっていますが、材料費も上がるということで、補正で増額しましたが、聞いていましたら、コロナ感染症などの学級閉鎖や学校行事の関係で、給食の提供数が減ったということですがけれども、15円一食に増額した分よりもたくさん賄い材料費などが減っていると思うのですが、油や卵などニュース見てもすごく価格が上がっているイメージがあって、減額出来ないと思っていましたが、その辺について何か非常に努力をされていて当然栄養価は守っていただいているとは思いますが、何か工夫をされてこういう状態になったのかお聞かせください。

学校教育部 先ほど御説明させていただきましたように、東部学校給食センターでございましたら、年間の食数を35万3532食と見込んでおりましたが、それは給食のある日数と、おられる生徒の人数を掛けて算出したものですが、学校によっていろいろな行事で、喫食をされませんと当然その分は減ってきます。

年間で見ているところで、それが最終的に行事等で減る見込みの分を歳入とともに、歳出も減らすということです。物価のところとは別のところでございまして、食数で減った分を歳入歳出ともに減らすということでございます。

■こども未来部

日程第1 議案第20号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算(第16号)

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

足立委員 36ページの森のようちえん事業ですが、雨天の場合の会場使用料ということで減額ですが、全体を通して1年間でどれぐらいの事業で何人ぐらいの参加があつてということをお尋ねします。

こども未来部 5月から3月までで年間10回の事業となっております。それぞれの回数によって参加人数というのは変わってきますが、1番少ないときで5組、多いときで11組の参加をいただいている状況で平均をすると1回当たり8組程度の参加組数となっております。

向井座長 先ほどの件でお聞きします。8組の場合参加人数としてはどれぐらいですか。掛ける2で考えたらいいのですか。

こども未来部 令和3年度の数字で申し上げます。昨年度も同じく10回の開催をしております。年間通じまして参加対象の子どもが延べ106人、その保護者ときょうだいが延べ87人、計193人の参加をいただいております。お母さんと子ども、お父さんと子どもという形で参加される方が実績としては多いですが、お父さんお母さんと子どもという形で参加される方も実績としてはあります。

向井座長 35ページの児童福祉一般事務費のひょうご保育料軽減事業補助金が、増額になっていますが、これは兵庫県が独自に県費で補助する事業だと思うのですが、たしか第一子からの保育料の補助であつたと思いますが、本市で今回の補正でどれぐらいの方がこの補助を受けられたのですか。

こども未来部 こちらのひょうご保育料軽減事業の対象者となられる方につきましては、第一子の方からとなっております。今回この事業を受けられる予定の方は全体で62人です。

安井委員 38 ページの味間認定こども園費の 460 万円減額ですが、人が想定より少なかったということだと思いののですが、実際、最初の想定と比べて何人少ない人数で味間認定こども園をされているのか教えてください。

こども未来部 今回人件費の補正をさせていただいている分については、期末手当や退手組合負担金等、支払い後の残額を精査をし補正を行っております。人員が足りない分に対する精査はしておりません。人が足りない人数は 1 から 2 人です。

■社会教育部

日程第 1 議案第 20 号 令和 4 年度丹波篠山市一般会計補正予算（第 16 号）

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

安井委員 64 ページですが、総合スポーツセンターや西紀運動公園の光熱費の高騰した分を補填するということですが、スポーツセンターよりも、運動公園のほうが高いというのは、プールの水を温めるのにエネルギーがたぐさいるというように理解していいのですか。

社会教育部 温水のお湯を温める部分と空間を温めるということで電気使用料が多くかかっております。電気料については、西紀のほうが高いということです。

向井座長 9 ページの歴史 4 館のところ、コロナ禍でなかなか元に入場者数が戻っていないということでしたが、唯一安間家資料館は増額になっているのですが、丹波篠山市についてお正月からテレビで紹介されたりということがありますが、そういった中でもなかなか戻らないというような感じですか。

社会教育部 テレビで、篠山城や安間家資料館なども紹介されましたので、4 館の方には問合せが多く入っているということは聞いております。
安間家資料館につきましては、ほかの施設よりも入館者の戻りが早い

ということですが、大書院の方で、4館を案内する際にまず安間家資料館を案内するということをお願いしておりまして、4館の中で1番遠いところにありますけれども、なるべく4館を回っていただけるように、案内をしているということをお願いしております。

足立委員 先ほどの温水プールのところで、いわゆる指定管理ですけれども、恒常的に光熱水費等々が上がってきて、当然契約事項ですから5年間とかの間見直しがないと思うのですが、また今回のように、上がる分を毎年補正で組んでいくのか社会情勢等々変わってくる場合に、契約の中に見直し条項があって、ある程度その契約のときに対応できるようになっているような考え方はあるのですか。

社会教育部 基本協定を締結する際に、条項の中で、社会情勢に基づく影響があるものについては協議に応じなければならないという条文がありますので、今回については、社会情勢ということで協議に応じております。それ以外については、協議に応じないということになります。

足立委員 その分を加味して来年度予算とかはそれを考慮せずに前のままでいくという認識ですか。

社会教育部 当初予算の委員会で御説明をさせていただきますが、西紀運動公園の指定管理について令和4年度に更新をしております。株式会社NSIに引き続きお世話になるということになっております。その中で提案価格としまして、現在、光熱水費が高騰しておりますので、その分を見越した金額で提案をいただいております。予算についてはこの高騰部分を含めて計上しております。

安井委員 温水プールはそれで分かるのですが、スポーツセンターの場合は既に契約していますが、その契約したときの金額で当初予算とするのですか。

社会教育部 2施設については利用料金制の施設になりますので、既に売上げ相当額を管理運営に投入していただいておりますので状況については決算の状況で分かります。今回の社会情勢により電気代相当額を増額して、当初予算に計上させていただきます。

安井委員 9 ページの田園交響ホール市主催事業使用料というのが、650 万ほど減額補正ですが、これは何が 1 番人気がなかったというか入場者数が少なかったということですか。

社会教育部 いろいろと原因はあろうかと思いますが、一つ大きなものといえますのは、陸上自衛隊の中部音楽方面隊のコンサートが、昨年の 3 月に急遽決定いたしました関係で、その事業を他の事業と振替えまして行いましたので、そのコンサートにつきましては無料で実施しております。無料でしたのでその分が大変大きいと思っております。

隅田委員 田園交響ホールの 10 ページで、佐渡さんの文化庁の補助金が 522 万円ですか決まったという説明を聞きましたが、佐渡さんにはお世話になっていると思うのですが、補助金がつくときとつかないときがあるということですか。その辺り詳しく教えてもらえればと思います。

社会教育部 今回のこの文化庁の補助金につきましては、新型コロナ下におけるプロの出演者の方々の支援事業ということで実施をさせていただいたものですので今回は特別に補助金がついたということですよ。

安井委員 公共ホール LED 化されましたが、それによって電気代というのは、どのくらい減ったといえますか、使用料はどのくらいになったのか、電気料金は上がったけれども使用料は減ったと思うのですがお聞かせください。

社会教育部 工事が完成しましたのが 2 月末です。まだ電力会社のほうから請求書が来ておりませんので、比較が出来ておりませんが、今回天井盤、舞台の音響の反射版の 300 ワットのハロゲンライトを 42 個、それから一客席のハロゲン 500 ワット 25 個をそれぞれその灯相当の LED ということで、大体 100 ワットのものをつけております。

大きく計算しますとその分だけでも、4 分の 1 ぐらいにはなっていると思っております。

向井座長 63 ページの図書館管理運営費のところですが、報酬減ということで会計年度任用職員が見つからなくて減額したということですが、市民セン

ターの図書コーナーも再開されているということで、職員は大変忙しいのではないかというような気がするのですが、予定していた職員が見つからないという状況の中で、運営自体はどのような状態なのかお聞きしたいと思います。

社会教育部 おっしゃっていただいたとおり、職員の数で言いますと今の現状が目いっぱいのところが必要最低限の人数かと考えております。

市民センターの図書コーナーも令和3年の4月から運営しまして、専属の司書を1名と我々職員が交代で対応しているという状況になっております。

その司書も中央図書館の勤務もあわせて行うといった状況でございますので、必要最低限の人数で現状運営しているという状況でございます。

社会教育部 先ほど館長のほうから最低限というような話をいたしました。誤解があったらいけませんので申し上げますが、司書11名を雇うという当初の予定でありましたが、司書については8名です。ただ人数としては、業務を担っていくには8名では到底対応できませんので、資格はないですが事務補助という形で、3名採用しており人数としては11名となっております。資格がある方とない方の差額を今回減額させていただいたということで、人数としては何とか確保している状況にあります。

■監査委員・公平委員会・選挙管理委員会・固定資産評価審査委員会事務局

日程第1 議案第20号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第16号）

【主な説明】

補正予算書に基づき説明

【主な質疑】

隅田委員 昨年の参議院の開票作業者ですが、昔に比べると随分と人数が減ったと実感していますが、当日9時以降の開票作業の人数は今分かりますか。

監査事務局 具体的な人数の資料は今持っておりません。ただ、参議院選挙の場合は、投票用紙が多いので90人程度で対応しております。

隅田委員 最近、物価高騰が随分言われておりますが、選挙のポスターの掲示板

との価格も上がってきているのですか。

監査事務局 確かに物価の高騰の影響は受けております。例えば、運送をいただくトラックの燃料代にも影響が出ていますので、若干ですけれども、今回の兵庫県議会議員の選挙の掲示板も価格が上がっております。また、ウッドショックもございましたので、資材が木製の場合ですと以前に比べ1割程度は上がっていると聞いております。

安井委員 今回、2月に市長選挙があつて、今度4月に県議員選挙があるのですが、県議員選挙であれば市長選挙と同じぐらいで4人分あれば足りるので、同じ掲示板で説明のところにシールを貼れば、使い回しが出来そうな気がするのですが、例えば短期間に同じような掲示板を使う選挙がある場合、例えばそれを保存していて、シールなどを貼って使いますとかそういうことができたなら経費節減できると思うのですがそのようなことは出来ないものですか。

監査事務局 安井委員おっしゃられたように、経費の節減という観点から言いますとそういう方法もあります。ただ、貼るという作業について、今のところ十分検討が出来てないというところもありますので、今後の検討材料にしていきます。

安井委員 選挙の掲示板も木材ですし、結構コストもかかって何百万もかかっていると思います。SDGsの観点からも使い回しみたいなことを検討いただきたいと思います。今回、市長選と県議選の期間が短いので余計にそういうことを考えてしまうので、検討していただきたいと思います。

—— 休憩 ——

■議員協議

向井座長 議員間で議論・確認等をしておいた方がよいこと等があれば、発言願います。

—— 意見等なし ——

—— 市長等への質問等なし ——

■意向確認

議案第20号 令和4年度丹波篠山市一般会計補正予算（第16号）

—— 修正・反対等の意見無し ——

向井座長 この結果を含め、各委員との質疑、答弁の内容について、座長報告を行います。報告については座長に一任いただきたい。

また、本日の会議の記録については、事務局に調整させ、座長、副座長において内容確認を行いたいと思います。

—— 異議なし ——

原田副座長 挨拶

向井座長 散会宣告

15：43 散会